

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年6月27日発行

2019.6.17～2019.6.23 ー第25週ー

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第22週	第23週	第24週	第25週
水痘		7 0.70	1 0.20		1 0.33	1 0.20	4 2.00	10 0.37	24 0.41	834	○	○	○	レ
流行性耳下腺炎			1 0.20		3 1.00			4 0.15	8 0.14	116				
感染性胃腸炎	16 4.00	75 7.50	15 3.00	13 6.50	8 2.67	18 3.60		280 10.37	425 7.33	8,795	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.25	3 0.30	2 0.40		1 0.33	2 0.40		14 0.52	23 0.40	150				
伝染性紅斑	2 0.50	8 0.80	9 1.80		2 0.67	23 4.60	6 3.00	2 0.07	52 0.90	2,443	◎	○	○	○
突発性発しん	2 0.50	8 0.80	7 1.40	2 1.00	2 0.67	1 0.20		8 0.30	30 0.52	684	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		4 0.40				7 1.40			11 0.19	35				
インフルエンザ	8 1.14	1 0.07							9 0.10	30,385	○	レ		
咽頭結膜熱		5 0.50	1 0.20		4 1.33	4 0.80		12 0.44	26 0.45	383		○	レ	○
流行性角結膜炎								4 0.67	4 0.33	70				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41 10.25	28 2.80	10 2.00	3 1.50	1 0.33	68 13.60	1 0.50	72 2.67	224 3.86	4,995	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎							2 2.00		2 0.17	90				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	13 3.25		2 0.40		1 0.33	2 0.40		42 1.56	60 1.03	733	○	レ	○	○
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								2 0.40	2 0.17	28				
拡張 疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3					2						
	川崎病							1						
	不明発しん症							10						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告)1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 女性1名
仙台南管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名(第21週), 女性2名
大崎管内 男性1名
石巻管内 女性1名
仙台南管内 男性1名, 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O157)

大崎管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台南管内 男性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台南管内 男性1名

カルバペネム耐性腸内細菌感染症
(*Enterobacter aerogenes*)

仙台南管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 男性1名
梅毒
仙台南管内 女性1名(第24週)
百日咳
塩釜管内 女性1名(第24週), 男性1名
仙台南管内 女性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[水痘]
気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
[伝染性紅斑]
石巻, 気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南, 石巻管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第22週採取分 (5.27～6.2)	第23週採取分 (6.3～6.9)	第24週採取分 (6.10～6.16)
RSウイルス	0件	3件	2件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	1件
アデノウイルス	2件	0件	1件
ライノウイルス	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	5件	0件	0件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ベロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157, O26などが代表的です。県内では第25週にO157の報告があり、今年の患者報告数は9名となっています。主な症状は腹痛、下痢ですが、小児や高齢者など抵抗力が落ちている人では溶血性尿毒症候群(HUS)を引き起こし重症化することがあるため注意が必要です。加熱不足の食肉を介した感染の他にも洗浄が不十分な野菜等の摂取が原因となることもあります。気温が高い季節は流行シーズンですので、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

